

1,革命の第一波 1920年代の革命運動

フランス革命とナポレオン戦争後の諸国民⇒ウィーン体制に満足せず

各地で()1主義=個人の自由・平等を求める

()2主義=国民国家の建設をめざす運動を継続=民族主義

①ドイツのブルシェンシャフト(学生連合)運動

1815年 イエナ大学で結成。ドイツの()3と自由を主張。

1817年 宗教改革300年を祝うヴァルトブルク❖a祭。

1819年 メッテルニヒは「()4=カルロヴィ・ヴァリ=の決議」❖bにより厳しく弾圧。

「ブルシェンシャフト旗」⇒現在のドイツ国旗(黒・赤・金)の由来

❖a---テューリンゲン州アイゼナハ。1521年ヴォルムス帝国議会の後ルターがザクセン伯により匿われ、新約聖書のドイツ語訳を行った城。

❖b---10カ国。「大学法」「出版法」「捜査法」により学生の秘密結社の禁止、検閲義務、監視組織の設置など。

②イタリアの秘密結社()5❖c=「炭焼き党」の反乱

1806年 ナポレオンが兄ジョゼフをナポリ王に即位させる⇒ジョゼッペ(位1806~8)

ジャコバン派の影響下()6でカルボナリ結成。自由・平等を求める急進的共和主義。

1814年 ()7家のフェルディナンド復位。カルボナリ弾圧

⇒現状に不満を抱く幅広い層の支持。イタリア中・北部にも勢力拡大。党員30~60万人

❖c---フランス革命期に炭焼き人のギルドを模した秘密結社がルーツ。

1820年7月 ナポリで蜂起。⇒「ナポリ革命」---国王に憲法制定を認めさせる。

1821年3月 ピエモンテの州都()8でカルボナリの指導で()9軍❖d蜂起

⇒「()10革命」❖e---自由主義政府を樹立し憲法を制定。

❖d---1720年北イタリア、フランス東南部(サヴォイア)を中心とするサヴォイア公国がシチリアを手放してサルデーニャを領有、()11王国となる。この蜂起は憲法制定とオーストリアの排除をめざす。

❖e---国王ヴィットリオ・エマヌエーレ1世(位1801~21)は退位。分家のカルロ・アルベルト(1798~1849)を摂政に新政府樹立したが、王弟のカルロ・フェリーチェ(位1821~31)が即位し、憲法を承認せず神聖同盟に支援を求めた。

1821年3~4月 ()12軍がナポリ、ピエモンテに侵入、革命軍を鎮圧。

③スペイン独立戦争と立憲革命

1808年 ナポレオンが兄ジョゼフを即位させる⇒()13 1世(位1808~13)

5月2日からスペイン人民による抵抗開始⇒()14の絵画「1808年5月2日」

1812年 カディス・コルテス(国民議会)❖fにより、()15公布(3月12日)

⇒「1812年憲法」---()16主権を規定。1813年ホセ1世廃位。

❖f---身分制議会(コルテス)は当時南部アンダルシア州のカディスにあり、そこで採択された。

1814年 連合軍により前国王=[]17家フェルナンド7世(位1808,1814~33)が復位。憲法を否定。

1810年代 ラテンアメリカ諸国の独立運動 1811ベネズエラ、パラグアイ 1816アルゼンチン

1818チリ 1819コロンビア →1819年国王は鎮圧のため軍を招集。

1820年1月 陸軍大佐ラファエル・デル・()18=(1784~1823)らが復古王政打倒を目指し蜂起。

「1812年憲法復活。 フェルナンド7世()19⇒革命政府成立=「自由主義の3年間」

「ラテンアメリカの独立運動が前進⇒1810~20年代に相次いで独立

→神聖同盟・ブルボン朝は「()20会議」でスペイン干渉、派兵を決定。(英は反対)

1823年 ()21軍10万が派兵され革命政府を鎮圧、フェルナンド復位。リエゴを処刑。

「リエゴ讃歌」----スペイン第二共和制1931~39の()22

④ロシアの青年士官による()23=Dekabristy十二月党❖g=の反乱

1825年12月ナポレオン戦争に従軍しヨーロッパで西欧近代の実情に触れた青年貴族将校による

「()24制廃止と立憲王政をもとめる蜂起。

トアレクサンドル1世(位1801~25)の死亡後ニコライ1世(位1825~55)の宣誓式で蜂起。

「鎮圧され翌年1月までに首謀者らは処刑(5人)・()25流刑(121人)。

❖g---1816年サンクトペテルブルクで6人の近衛青年将校が設立した「救済同盟」が母体。農奴解放と専制廃止をめざす。1821年解散後、南部ウクライナ、北部ペテルブルクで共和制、立憲君主制を志向する結社設立。

⇒これらの運動はいずれも鎮圧されたが、次の時代に受け継がれていく。

⇒ウィーン体制は大きく動揺

⑤ギリシャ独立戦争

1821年 ギリシャ=()26帝国支配下❖h=秘密組織フィリキ・エテリア❖iの蜂起

独立戦争開始⇒3月25日独立宣言=「()27記念日」 ⇒ギリシャ各地に波及

❖h---1453年東ローマはオスマン・トルコにより滅亡、以後400年近くギリシャは「オスマンのくびき」

❖i---「友愛会」1814年オデッサ(ウクライナ南部・黒海沿岸)で設立されたギリシャ独立をめざす組織。露・英・仏は初め非協力、1822年のキオス島でのオスマン軍によるキリスト教徒虐殺事件を経てのち()28半島への進出をはかるため、ギリシアを支援。詩人バイロン(1788~1824)などのギリシャ支援活動。

1830年 ()29議定書でギリシャの独立承認。ギリシャ王国成立。国王はドイツ系



イタリア(1810年)



1812年憲法寓話 (ゴヤ)



Karl Kolman(1786~1846)「デカブリストの蜂起」



Rafael del Riego y Nunez



処刑された5人のロシア将校の碑



フィリキ・エテリアの宣誓状



キオス島の虐殺(ドラクロワ)

- ・統一 ・国民 ・自由 ・独立 ・国歌 ・憲法 ・廃位 ・農奴 ・ゴヤ ・ホセ ・リエゴ ・ナポリ
- ・ドイツ ・トリノ ・ギリシャ ・ロンドン ・バルカン ・フランス ・シベリア ・オスマン ・ブルボン
- ・ラヴェンナ ・カルボナリ ・ピエモンテ ・サルデーニャ(2) ・デカブリスト ・オーストリア ・カールスバート